

仏向小地域コーディネーターだより

第1号

発行：令和4年12月

事務局：仏向小学校地域学校協働本部

「地域たかの子祭り」について

11月12日（土）に開催した『地域たかの子祭り』にご協力いただきました皆様、ご来場いただきました皆様、ありがとうございました。経緯や成果について、お知らせします。



コロナ禍で中止が続いたたかの子祭りですが、PTAの行事からなくなり、子どもたちが楽しみにしていたイベントが減る現状を残念に思っていた頃、仏向小学校地域学校協働本部の地域コーディネーターとして活動していくことが決まりました。



学校との初回の打ち合わせで、今後どう活動をしていくかの計画の中で、たかの子祭りを復活させたいと話をしました。たかの子祭りを経験したことがない保護者、先生方も多い中ではありましたが、「学校として協力できることをしていく」とすぐに賛同をいただきました。子どもたちの総合的な学習の成果を発表する場として提案され、学校が協力して開催するお祭りになることにとても心躍りました。



最初は、以前の「たかの子祭り」ができればいいなと思い、50円でゲームブースをやってくれそうなたかの子祭り経験者に声をかけたところ、二つ返事で「やろうよ！子どもたち喜ぶよ！」と仰っていただきボランティアの輪が広がりはじめました。



また、和田町商店街の会長（「異食堂すみれ」店主）を学校からご紹介していただきました。すみれさんは「前に仏向小の子どもたちが書いてくれた手紙をもらって、嬉しかったから飾ってあるんだ」と話してくれて、「自分ができることはやってみるから」と何度も打ち合わせをしてくださいました。その結果、和田町商店街のたくさんのお店に出店のご協力をいただき、また、横浜国大で地域振興活動をしている学生さんにもつながり、地域と協力して開催できることになりました。



地域の輪が広がり広がり、終わってみると、以前のたかの子祭りの倍以上の規模のお祭りとなりました。

規模は大きくなっても、以前のたかの子祭りの精神は受け継がれ、子どもたちが小銭を握りしめて楽しめるように50円でゲームができたり、子どもたちが買いやすい値段設定のものを販売してくれたりしました。また、100人以上のボランティアにご協力していただきました。お手伝いに応募してくれた5・6年生もとても頑張ってくれました。本当に感謝の気持ちでいっぱいです。



ご参加いただいた皆様から、「何より子どもたちの笑顔が最高だった」との声を多くいただきました。子どもたちが大きくなったときに、「仏向小でのお祭り楽しかったな」と思い出してもらえるよう、『地域たかの子祭り』を今後も続けていけたらと思います。



来年もよろしく願いいたします。



★☆☆

和田町商店街のマスコット、和田丸も来てくれました！

和田町商店街のマップを配布しました。

たかの子祭りでご協力いただいたお店もたくさんあるので
みんなで行ってみてね！

★☆☆

『地域コーディネーター』とは？

横浜市が各学校に設置することを推進している**地域と学校の橋渡し役**です。PTAとは別の組織で、学校長の推薦を受け委任され、教育委員会による研修もあります。

仏向小学校でも今年度より地域コーディネーターを任命し、地域学校協働本部を設立することになりました。



地域学校協働本部では、地域ぐるみで子どもたちを見守る活動をしていきます。

今後は、学援隊の編成、わんわんパトロールの他、学校の花壇の整備や飼育ボランティアの募集もしていく予定です。

何かのついでに、少しの時間でかまいません。学援隊へのご登録や、わんわんパトロールへのご登録、よろしく願いいたします。